

市民バスが変わります!!

10月1日(金)より開始

バスの利用者が 減少しています

現在、市内を運行しているバスには、東濃鉄道が運行する路線バスと、市が運営する市民バスの2種類があります。これらのバスは、特に自動車を運転することができない高齢者や子どもたちを中心に利用されており、私たちの地域になくてはならない移動手段となっています。しかし、現実には路線バスの利用者は年々減少しており(図1)、このままでは今のバス路線を維持していくことができなくなってしまう恐れがあります。

一方、利用者が少なく廃止されてしまった路線バスの代わりとして運行されてきた「市民バス」も、近年では利用者数が伸び悩んでお

り(図2)、今ではその運行に、年間約3600万円の費用を県と市が負担しています。

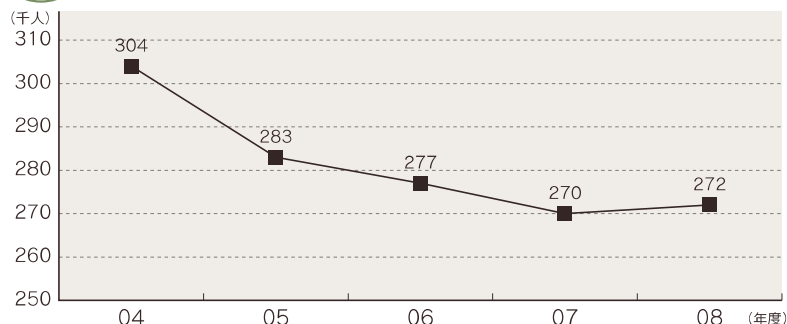
このように利用者の減少やそれに伴う財政負担が増大していく中、これから先「地域の足であるバス交通を、どのようにして守っていくか」は、地域全体が考えていかなくてはいけない課題であるといえます。

地域公共交通総合連携計画 を策定

そのような問題に対処するため、市では、地域の皆さんや交通事業者、国や県、学識者などからなる「土岐市地域公共交通活性化協議会」を設立し、約1年間にわたる検討を行った結果、平成22年3月

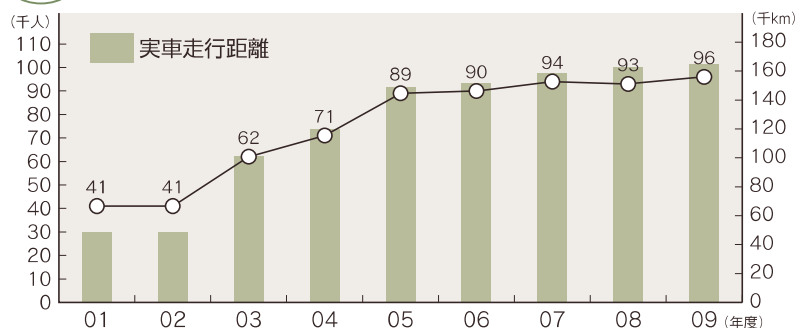


図1 東鉄バスの利用者数の推移



※「東鉄バスの利用者数の推移」は、「土岐＝下石＝駄知線」、「土岐＝妻木線」の全系統と「駄知線」のうち「多治見駅前＝神明峠＝土岐市駅前」の系統を除いたものです。

図2 市民バスの利用者数の推移



に「土岐市地域公共交通総合連携計画」を取りまとめました。この計画は、市内の公共交通をより多くの方にとって便利で、かつ持続可能なものとすることを目的に、平成22年度から5カ年にわたり、地域で行っていくべき取り組みについてまとめたものです。

そして、その取り組みの第一弾が10月1日より行う「市民バスの再編」です。

再編のキーワードは「路線バスと市民バスの役割分担」と「生活スタイルに合わせた公共交通ネットワークの構築」

昨年度に実施された数々の調査（市民アンケート、バス利用者アンケート、乗降調査など）から浮かび上がってきた問題点として、「市が運営する市民バスが東濃鉄道の路線バスと一部で競合している」、「バス・鉄道、それぞれの乗り継ぎが悪い」、「運行ダイヤが移動ニーズに合っていない」などがありました。

そこで、連携計画の基本目標を『みんなで創る「生活に密着した、

持続可能な公共交通ネットワーク」の実現』としました。

これには、大きく分けて2つの目標が掲げられています。

1つは、路線バスを幹線、市民バスを支線として位置付け、2つのバスが競合してしまうような状況を解消し、地域の移動ニーズをお互いが連携しながら支えていくような役割分担を実現すること。

もう1つは、利用者の通勤・通学や通院、買い物などの生活スタイルに合わせたダイヤに再編成するとともに、バスとバス、バスと鉄道などの乗り継ぎダイヤを調整することで、公共交通をネットワークとして利用できるような環境を整備することです。

次ページからは、再編による変更点をお知らせします。



市民バスの再編によって変わること

市民バスと路線バスの乗り継ぎの必要が生じる場合があります

今回の再編では「土岐市駅」、「ウエルフェア土岐」、「駄知（土岐営業所）」の3個所を路線バスや市民バス、JRの乗り継ぎ拠点となる「結節点」としました（図3）。これにより、これまで直接行くことができた施設に乗り継ぎが必要な場合が生じますが、東鉄バスの一部の便をウエルフェア土岐に乗り入れるなど、スムーズな乗り継ぎのための工夫をしています。

地区別線が統廃合されます

現在運行されている10路線の地区別線が、半分の5路線に統廃合されます。また、ウエルフェア土岐まで直接運行していた地区別線は、路線バスとの競合を避けるために「土岐市駅前」と「駄知」で路線バスに乗り継ぐ必要があります。

また、新しい泉線、土岐津線、

肥田線の運行本数は1日1・0往復から1・5往復に、また駄知巡回線は、平日は毎日運行されるように増便します。これにより、買い物などにも便利に利用できる路線になります。

一部の路線では利用できる地域が広がります

泉が丘線では、従来運行されていなかった五斗時市営住宅を、河合線では、新たに国道19号線の南部地域を運行範囲に広げることで、従来市民バスを利用できなかった方も利用できるようになります。

地域の生活スタイルに合った運行ダイヤに生まれ変わります

昨年度に実施した調査結果をもとに、通勤・通学や通院、買い物などの利用時刻に合わせた運行ダイヤとなり、利用目的に合わせた往復の足がバスによって確保されます。

路線別の主な再編点

分類	現状の路線	再編後	再編の概要
市民バス (平日)	泉が丘線	①泉が丘線 ②伝産会館線	●五斗時市営住宅経由とし、通勤・通学のため朝夕の便を増便 ●通勤・通学需要に合わせて朝夕の便を増便
	美濃焼団地線	③美濃焼団地線	●通勤需要に合わせて最終便を遅い時刻に設定
	河合線	④河合線	●ニーズに合わせて運行範囲を拡大
	鶴里=駄知線	⑤鶴里=駄知線	●駄知地区では「駄知巡回線」として駄知地区をカバー
	曾木=妻木線	⑥曾木=妻木線	●下石より北への運行を原則廃止し、曾木=妻木線に統合
	市内巡回線	⑦土岐南北線	●「土岐南北線」を、土岐市の南北を縦断する路線として運行(ウエルフェアをまたぐ利用は運賃が200円になります)
	バーデンパーク線		
地区別線	(火)泉東	⑧泉線(火)	●「泉東」および「泉西」は統合し、1路線で運行
	(火)泉西	(1.5往復)	●運行本数を1.0往復から1.5往復に増便 ●ウエルフェア土岐へ行く場合は土岐市駅で東鉄バスに乗り換えます
	(木)土岐津西	⑨土岐津線(木)	●「土岐津西」と「土岐津東」は統合し、1路線で運行
	(木)土岐津東	(1.5往復)	●運行本数を1.0往復から1.5往復に増便 ●ウエルフェア土岐へ行く場合は土岐市駅で東鉄バスに乗り換えます
	(金)肥田東部	⑩肥田線(金)	●「肥田東部」および「肥田西部」は廃止し、1路線で運行
	(金)肥田西部	(1.5往復)	●運行本数を1.0往復から1.5往復に増便 ●ウエルフェア土岐へ行く場合は土岐市駅で東鉄バスに乗り換えます
	(月)駄知南西部	⑪駄知巡回線	●「駄知南西部」と「駄知北東部」を廃止し、「駄知巡回線」を新設。さらに、週1日運行から平日毎日運行
	(月)駄知北東部	(1.5往復)	●ウエルフェア土岐へ行く場合は駄知(土岐営業所)で東鉄バスに乗り換えます
	(水)鶴里 (水)曾木	⑫濃南線(水)	●「鶴里」と「曾木」を廃止し、「濃南線」を新設 ●市立総合病院へ行く場合はウエルフェア土岐で東鉄バスに乗り換えます
市民バス (休日)	泉が丘線	①泉が丘線 ②伝産会館線	●五斗時市営住宅経由とします ●現状の運行本数を維持
	美濃焼団地線	③美濃焼団地線	●利用の少ない便を統廃合
	河合線	④河合線	●ニーズに合わせて運行範囲を拡大
	どんぶり会館	⑬どんぶり会館	●利用の少ない便を統廃合
	バーデンパーク線	バーデンパーク線	●「駄知(土岐営業所)」をまたぐ利用は運賃が200円になります



再編後の路線の変化(平日)【イメージ】

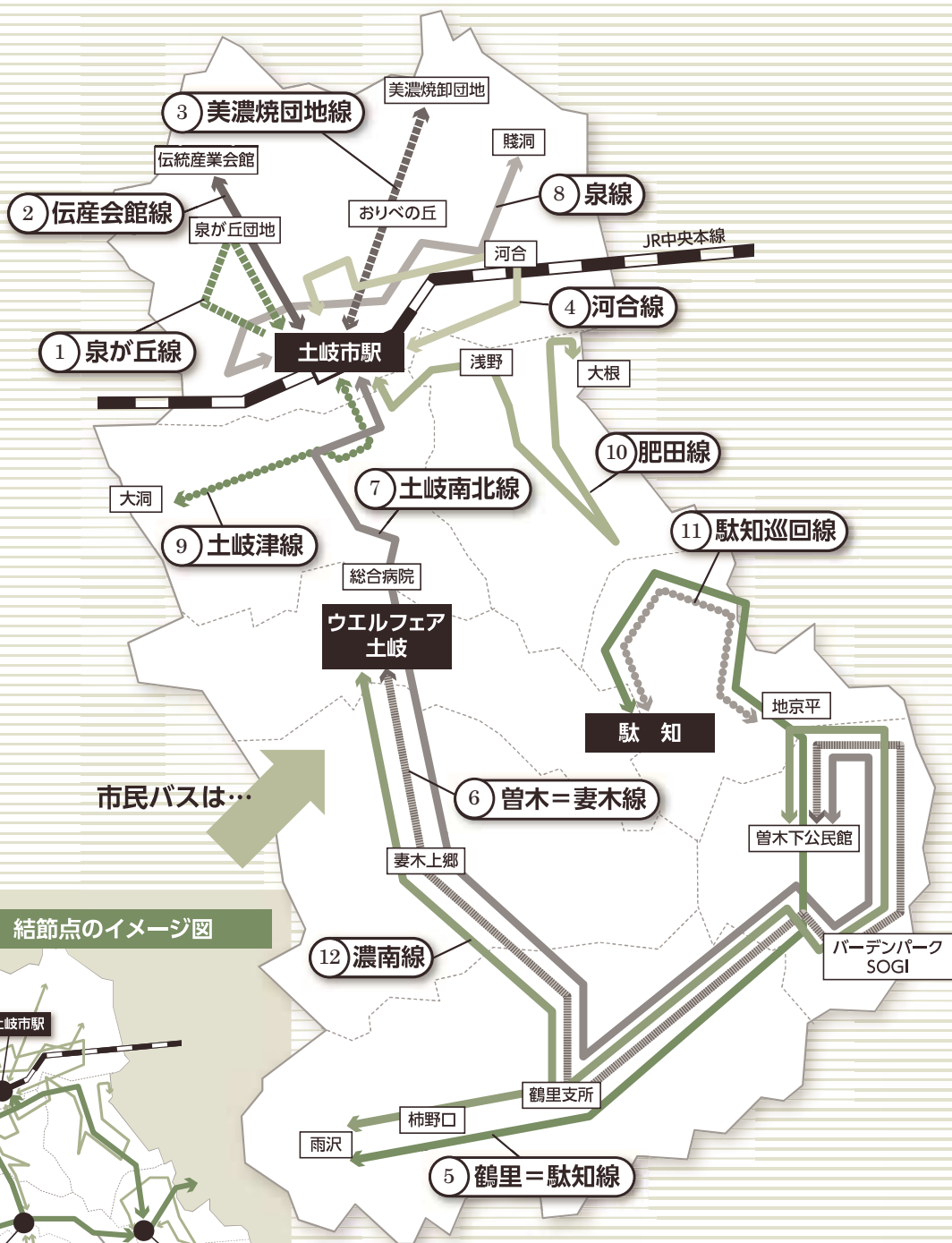
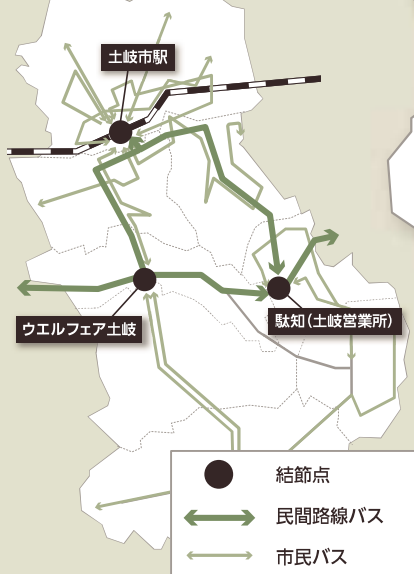


図3 結節点のイメージ図



各路線の主な停留所

※詳しい時刻表は、本紙9月15日号の折り込みチラシでご案内します。

4
河合線
平日および土・休日運行
土岐市駅前
すこやか館
セラトピア土岐
土居南
岩野
河合
土居北
窯公園
大徳原
土岐市駅前

3
美濃焼団地線
平日および土・休日運行
土岐市駅前
土岐市駅北
泉岩畑町3
泉梅ノ木町
泉公民館前
窯公園
おりべの丘第1
若人の丘
志野・織部
美濃焼卸団地

2
伝産会館線
平日および土・休日運行
土岐市駅前
土岐市駅北
文化会館前
泉西公民館
泉が丘1丁目
泉が丘4丁目
泉が丘団地口
はなの木苑
聖十字病院
美濃焼伝統産業会館

1
泉が丘線
平日および土・休日運行
土岐市駅前
土岐市駅北
寺下
五斗時市営住宅
泉が丘4丁目
泉が丘1丁目
泉西公民館
文化会館前
土岐市駅北
土岐市駅前

8
泉線
火曜日のみ運行
賤洞
河合
河合口
定林寺駐在所前
泉公民館前
土岐市駅北
日の出団地
緑ヶ丘
大沼公園
土岐市駅前

7
土岐南北線
平日のみ運行 (新路線)
曾木下公民館
バーデンパークSOGI
曾木支所
鶴里支所前
妻木上郷
ウエルフェア土岐
総合病院
追沢市営住宅
土岐市役所前
土岐市駅前

6
曾木=妻木線
平日のみ運行
曾木下公民館
蘭仙
バーデンパークSOGI
曾木支所
細野
鶴里支所前
妻木上郷
明神口
ウエルフェア土岐
西部支所

5
鶴里=駄知線
平日のみ運行
雨沢公民館(白鳥神社前)
坂下公民館
鶴里支所前
細野
曾木支所
地京平市営住宅
堀越
駄知支所
第二旭ヶ丘市営住宅前
駄知

13
どんぶり会館 バーデンパーク線
土・休日のみ運行
土岐市駅前
浅野
陶史の森
どんぶり会館
第二旭ヶ丘市営住宅前
堀越
東駄知
駄知
総合公園
バーデンパークSOGI

12
濃南線
水曜日のみ運行 ※雨沢公民館まであり
曾木下公民館
蘭仙
バーデンパークSOGI
曾木支所
細野
こぶしの里
雨沢公民館(白鳥神社前)
鶴里支所前
妻木上郷
ウエルフェア土岐

11
駄知巡回線
平日のみ運行
駄知
第二旭ヶ丘市営住宅前
陶生苑入口
どんぶり会館杉焼池
駄知診療所
駄知支所
駄知中入口
堀越
本郷町
地京平市営住宅

10
肥田線
金曜日のみ運行
大根入口
弓取橋
肥田支所
東山霊苑入口
上起
高根公民館(団地)
浅野朝日町
北消防署前
すこやか館
土岐市駅前

9
土岐津線
木曜日のみ運行
大洞公民館
大洞北
御幸公民館
津路町
市役所
西山公園入口
西山公民館
高山区民会館前
すこやか館
土岐市駅前



10/1 START!!!!

私たち東濃鉄道は、市内の路線バスの運行のほか、市から依頼を受け、市民バスを運行しています。

バスの運行に当たっては利用する方の安全を第一に考え、私たちの営業所では、今年度の目標を「車内事故防止」と定め、営業所全体で取り組んでいます。

日中にバスを利用する方は高齢者など、いわゆる交通弱者が多いため、運転手は、必ず発進の前にお客様が着席したことを確認してから発進するように心掛けています。また、車両の座席数もゆとりを持たせ、十分に着席できるように配慮しています。

安全を守る取り組みとして、ドライバーの管理もしっかり

行っています。平日の市民バスのドライバーは、運転歴40年のベテランが多く、もちろん適性検査や健康診断を定期的に受けています。

今回の市民バスの運行見直しでは、一部乗り継ぎの必要な路線ができましたが、買い物や通院などに配慮し、電車や路線バスとの接続がよくなっています。

自家用車の普及が進み、最近ではバスの利用者が少なくなっていますが、お子さんや高齢の方などの移動手段としてバスなどの公共交通機関はなくてはならないものだと思えます。今後も地域の公共交通を守るため、その必要性を見直し、多くの方に利用していただきたいと思います。

**安心・安全な
公共交通機関を
利用してください。**



東濃鉄道(株)土岐営業所
所長 恒松 健一さん

市民バスの運賃に関するお知らせ

▶ 長距離利用の運賃が200円になります

基本運賃は、これまで通り100円ですが、「土岐南北線」、「どんぶり会館バーデンパーク線」を利用する場合、結節点（ウエルフェア土岐、駄知(土岐営業所)）をまたぐ利用は、200円となります。

▶ 「市民バス定期券」の名称が「フリーパス券」に変わります

現在販売中の市民バス定期券は9月30日までの販売となり、10月1日からはフリーパス券と名称を変えて販売します。9月30日までに購入された定期券は、その券の期限まで引き続き市民バス全路線にて利用できます。

300円分のバス乗車券が200円で購入できる「乗り継ぎ券」を発行します。

市民バスと東鉄バスの乗り継ぎにお得です。

【乗り継ぎ券】

- ◇金額 1枚200円
- ◇対象 60歳以上の方
- ◇使用区域 土岐市内で使用可能
- ◇販売場所 東濃鉄道土岐営業所、東鉄観光土岐支店、市民バス車内



※乗車賃に差額が発生した場合には、差額分を支払っていただく必要があります。

※お釣りの支払いはできませんのでご注意ください。

問い合わせ 土岐市地域公共交通活性化協議会事務局(商工観光課内・内線232)